

りっぷる

エスコープ大阪機関紙

第200号

8

19. .26



表紙

・自分のことばでエスコープ大阪の魅力
を伝えて仲間を増やす

P2

・秋のおさそい推進月間では楽しく仲間
を増やそう!

P3

・活動報告 首長メッセージ取得活動/
ソーラーランタン作り/ハイム化粧品
㈱生産者交流会
・組合員紹介 生産者紹介

P4

・エスコープ大阪第6次中期計画
・エコロ給付状況報告
・子育てひろば案内
・理事会報告・おたよりネット・編集後記

自分のことばで エスコープ大阪の魅力を 伝えて仲間を増やす

エスコープ大阪では春と秋におさそいキャンペーンをおこなっています。組合員が知り合いにエスコープ大阪の良いところを伝え、「エスコープ大阪の共同購入を通じて持続可能な社会を一緒につくっていこう」と呼びかけ、加入に結び付けています。

南河内地域組合員で消費担当常務理事の梶川愛さんは組合員歴12年で、これまでおさそいキャンペーンで多くの知り合いにエスコープ大阪の魅力を伝えてきました。なぜ知り合いをおさそいするのか、どのように声をかけてきたのかなど梶川さんがこれまでおこなってきたおさそい活動について伺いました。

(聞き手:組織担当常務理事 糸川 江里子)



南河内地域組合員
消費担当常務理事
梶川 愛さん

お互いにとってうれしい おさそいキャンペーン

糸川 梶川さんが伝えたいエスコープ大阪の魅力は何ですか。

梶川 消費材のおいしさですね。ただおいしいだけでなく、例えば、豚肉なら飼料だけでなく、肥育環境も含めてこだわっている、組合員と生産者が協力してできている消費材であるということも魅力です。

糸川 そのおいしさを誰に伝えてこれれましたか。

梶川 友だちや家族、近所の人です。特におさそいキャンペーンの時は、ちゅうちよせず声をかけるようにしています。おさそいキャンペーンは、おさそいした相手には期間限定の試食サンプルや加入特典があったり、紹介した人には消費材購入に使えるポイントがもらえたりします。両方にメリットがあるうれしい取り組みだと思います。

相手の求めているものを キャッチする

糸川 声をかけるのには少し勇気がいりますが、どのようにお話をするのですか。

梶川 自分が気に入っている消費材を紹介したり、組合員のこだわりや安心・安全への考え方も含めておいしさを伝えます。「こんな生協、知っている?」とか、「いいものがいっぱいあるよ」など日常の会話の中で伝えていきます。会話の中に

は、相手が探しているもののヒントがいっぱい隠れています。日頃からそのことを気に留めておいて、話を切り出すきっかけにしています。友だちの探しているものを見つけてくれる手伝いができるのが楽しいですね。

糸川 会話を楽しみながら、生協を紹介されているのがいいですね。お友だちが生協に加入してくれると、共通の話題で話が弾みますね。

梶川 生協の企画におさそいして、エスコープ大阪が取り組んでいる運動面にも共感してもらえようになっています。企画では、伝えたいことをリラククスして自分らしく話すようにしています。自分が一方的に話すのではなく、相手の関心ごとにも共感を持って耳を傾けています。

ひとりではできないことを 実現することができる

糸川 梶川さんはなぜ紹介活動に積極的なんですか。

梶川 食べる仲間を増やしたいからです。食べる仲間が増えて、食べ続けられれば利用を安定させることができるので、ずっとその消費材を食べることができずもつと多くの人にもすすめられるし、子どもたちにつないでいくことができます。ひとりではできないけれどみんなと一緒にそれができます。

また、消費材は生産環境とも密接につながっていて、消費材の背景を知れば環境保全などにもつながっていることがわかります。こういったことは、生協に加入後すぐに気づいても、1年後でも良いと思います。食べ続けて、誰かに広める活動を続けていると気づくこともあります。自分がおさそいした組合員には、その後もお気に入りの消費材を写真付きの

メールで紹介して利用し続けてもらえるようにしています。ときには逆に教えてもらうこともあり、新しい発見があります。

糸川 加入された方に、フォローもされているんですね。生協に加入しても何を利用すればいいのかわからず退会される方もいます。新しく加入した方にとっても紹介してくれた友だちや近所さんと気軽に情報交換できると楽しいし、利用定着にもつながって良いですね。

つながり広がっていく 組合員によるおさそい活動

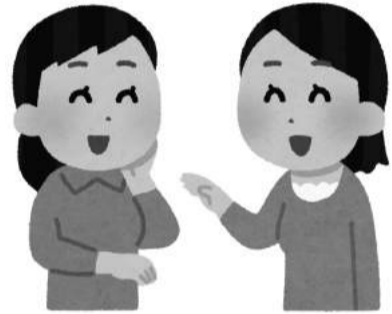
糸川 梶川さんの紹介がきっかけで加入した方々が、加入後のつながりを通して、もつとエスコープ大阪を知り、好きになってくれたらうれしいですね。

梶川 私も同じ南河内地域のママ友だちに誘われて活動に参加するようになりました。企画に誘われて参加するうちに、もともと自分の関心があったことが、掘り起こされていく感じがしてとても楽しくなり、今の活動につながっています。また、私が誘った人たちも自分のお気に入り消費材を見つけて、知り合いに紹介するというつながりができていることがうれしいです。エスコープ大阪の取り組みに興味を持った大阪市内・中河内地域の友だちは、地域の活動に参加して、たくさん知り合いにエスコープ大阪の魅力を伝えていきます。

糸川 おさそいキャンペーンはおさそいで終わりではなく、その後も組合員同士がつながり、広がっていく。その積み重ねが今のエスコープ大阪につながっていて、この取り組みがなければ消費材を利用し続けることもできません。これからも自分のことばで魅力を伝えて、仲間を増やす活動を続けていきたいと思います。

秋のおさそい推進月間では 楽しく仲間を増やそう！

エスコープ大阪は来年5月で50周年を迎えます。その間、組合員は絶えず自分たちの思いを発信し、活動してきました。「豚の一頭買い」や「分け合いの農園野菜」などの活動を展開して、班組合員を増やしてきました。近年では個人配達が主流となりましたが、それでもなお組合員の紹介による生協加入がエスコープ大阪の運動と事業を支えています。そんな中、組合員がおこなう新たな取り組みのひとつとして、地域委員と生産者が協力し、仲間を増やす「生産者コラボ企画」を開催します。新たにスタートする生産者コラボ企画や組合員を増やす取り組みについてお伝えします。



おさそい活動がなぜ必要なのか

エスコープ大阪の前身である泉北生協が設立された当時は市場の牛乳に疑問を持ち、自分たちが飲みたいと思う牛乳を求めて工場まで作りました。生協を設立するために、泉北ニュータウンを1軒1軒回って仲間を集めたそうです。また、その後の農園野菜や豚肉（現在の『旬菜セツト』や『ワインナークラブ』の豚肉）の取り組みでも、食べる仲間を増やすことで運動をすすめてきました。



宮山台での泉北生活協同組合設立総会(1970年3月22日)

例えば「菜食ファーム」の野菜を一人で手に入れようとすれば、農家を直接訪問し、販売してもらわなければ手に入れることはできません。原材料の細かなところまで知ることができない餃子を生産者に作ってほしくても消費者一人の利用

では相手にしてもらえません。一人ひとりが注文中に「ー」と書くことでしか消費材は成り立ちません。友だちや知人に自分のお気に入りの消費材を「これいいよー」「一緒に利用しない?」と呼びかけることが「おさそい活動」そのものです。お気に入りの消費材をずっと利用したいという自分自身のための取り組みでもあり、数多くの組合員の自分自身のための行動があったからこそエスコープ大阪は続いています。

こんなことまでできる

エスコープ大阪には、現在約1万9千人の組合員が在籍しており、この消費するチカラで運動をすすめています。6月24日(月)に東京都内で開催された生活クラブ事業連合生活協同組合連合会(会員生協・33生協・1連合会、組合員数合計約40万人)の第30回通常総会で、ゲノム編集食品を受け入れないことを基本姿勢とする特別決議を採択しました。約40万人の組合員の意思として、これまでの遺伝子組み換え食品と同様にゲノム編集食品への反対が表明され、総会翌日

の新聞には、生活クラブがゲノム編集食品を取り扱わないと意思表明したことその理由が掲載されました。ひとりではどうにもならないことも、思いを共にする仲間と運動を共感できる生産者が集まれば、遺伝子組み換え食品と同じく消費材からの排除を実現していけるということが示された事例です。



生活クラブ事業連合生活協同組合連合会総会(2019年6月)

おさそい推進月間の目玉 「生産者コラボ企画」

組合員のおさそい活動としてこれまでは、組合員以外の方も参加できるおさそい企画を各地域で開催し、紹介カードの提出を促してきました。今年は紹介カードの取り組みに加えて、組合員と消費材の生産者が協力して組合員拡大をおこないます。組合員拡大を目的とした生産者交流会「生産者コラボ企画」を開催し、たくさんの組合員以外のお知り合いを連れて参加してもらえるように呼びかけます。

この企画では、これまでの地域単位ではなく、2地域合同の大きな規模で開催し、いつもよりもパワーアップした内容をめざしています。生産者からは消費材の情報を、地域委員会からは生協の良さを伝え、納得してエスコープ大阪に加入してもらうことができる機会です。ぜひ、お知り合いを誘って参加してください。共に運動をすすめる仲間を増やすために、あなたの思いを行動にしてみてください。

3会場で生産者コラボ企画を開催します!

日程	主催地域	コラボ生産者
9月20日(金) 10:30~13:00	大阪市南・中河内地域 堺市街地地域	(株)ミサワ食品 (ふがし、ラムネ菓子など)
9月21日(土) 10:00~12:00	河内長野・大阪狭山地域 南河内地域	
9月23日(月) 10:30~13:00	泉北ニュータウン地域 泉州地域	(株)秋川牧園 (鶏肉・鶏肉加工品)

生産者コラボ企画とは?

通常の生産者交流会とは違い、生産者の協力のもと実施する組合員拡大を目的とした交流企画です。消費材を通じて生協への興味・関心を高め、生協への加入に結び付けたり、消費材利用へのきっかけづくりを目的としています。参加は、新加入の組合員や組合員以外の方(加入検討者)を対象としています。組合員のみでの参加はできません。組合員の方は、組合員以外の方(同一生計のご家族は対象外)と一緒にご参加ください。組合員以外の方のみでの参加は可能です。事前のお申し込みをお願いします。

※会場や企画内容については地域ニュースまたはエスコープ大阪理事会事務局(☎072-293-4660)までお問い合わせください。

環境委員会
**首長メッセージ
 取得活動**
 5月21日(火)～
 6月10日(月)
 環境担当理事 山路 登葉

行政にも広めたい！ せっけん運動の輪

エスコープ大阪は、全国の協同組合や生産者と共に「せっけん運動ネットワーク」を組織し、せっけんの利用を推進しています。同ネットワークでは、毎年7月を「シャボン玉月間」とし、せっけん利用を啓発するポスターの掲示や「せっけん推進運動を応援します」という趣旨の首長メッセージを取得する活動を全国で展開しています。

エスコープ大阪の環境委員会で、配達エリア内の23市町村役場を訪問しました。昨年度、せっけん運動に賛同していただけなかった市町村に対しては、面談の時間を設けていただき、せっけんと合成洗剤の違いをより分かりやすく的確に伝えるため、「カイワレ実験」の現物を持参し、私たちがすすめるせっけんの利用推進活動について説明しました。

水、せっけん水、合成洗剤水の3種の水を使って育てたカイワレを並べ

ると生育の差は一目瞭然で、せっけん水と水ではすくすく育つのにに対し、合成洗剤水で育てたカイワレは根が黒くなり発育しません。役場の担当者も一様に合成洗剤の害について個人的には理解してくれた様子でしたが、「同じ界面活性剤であるせっけんも合成洗剤はどちらも使い過ぎない適量使用をすすめる」とし、片方を優位視することはできない」との返答でした。訪問したすべての市町村の首長に、私たちのせっけん推進運動が理解される日が来ることを願いながら、今後も首長メッセージ取得活動を継続していきたいと思えます。



大阪府との面談でカイワレ実験を説明

コスメ専門委員会
**ハイム化粧品(株)
 生産者交流会**
 6月19日(水)
 エスコープ大阪本部
 (堺市南区小代)
 コスメ専門委員 藤本 裕子

夏の敵 「紫外線」への対策！

「ハイム化粧品(株)」の石井美有さんをお招きして、紫外線対策をテーマに生産者交流会を開催し、11名の組合員が参加しました。

紫外線対策を売りにした製品はたくさんありますが、石井さんのお話を聞いて初めてきちんとした意味を知りました。紫外線は波長によって

UVA、UVB、UVCの3つに分けられ、私たちの肌に悪影響をもたらすのは、UVAとUVBのふたつです。UVAは肌の深い部分(真皮)まで到達し、しわやたるみの原因となります。UVBは肌の浅い部分に作用し、すぐに日焼けを起こし、シミやそばかすの原因となります。これらから肌を守ってくれるのが日焼け止め



す。表示されているSPFという数値は主にUVBの防止効果を表す目安。個人差はありますが、紫外線に当たってから日焼けするまで15〜20分と言われています。SPF30であれば、それを30倍遅らせることができます。

PAはUVAの防止効果を表す目安の数値で、+の数が多いほど高い効果があります。日焼け止めには吸収剤と散乱剤があり、吸収剤タイプは肌に吸収されてしまうので肌への負担がある一方で、散乱

剤タイプは肌の表面に止まり紫外線をはね返すので、肌への負担は少ないですが、こまめに塗り直す必要があります。肌の老化の原因は、自然老化が2割、紫外線による老化が8割も占めるので、紫外線対策の大切さがよくわかりました。

化粧品の成分内容は企業秘密のものも多く、全成分内容が公開されているものはほとんどありません。しかし、ハイム化粧品では全成分表示に加えその割合も表示されていて、安心して化粧品を選ぶことができます。ぜひ利用し、裏の表示も確認してみてください。

泉北ニュータウン地域
**生活クラブでんき
 推進月間取り組み
 ソーラーランタン
 作り**
 6月28日(金)
 エスコープ大阪・本部
 (堺市南区小代)

泉北ニュータウン地域理事
 真柄 恭子

自然エネルギーの大切さを 共有しました

「生活クラブでんき推進月間」の企画として、ソーラーパネルと蓄電池でソーラーランタンを作りました。午前と午後の計2回開催し、計11名の組合員が参加しました。



広口のびんの中に、白とピンクの砂やビー玉、小石などを入れ、その上に大小さまざまな形の貝殻を並べました。作る人それぞれのセンスが光っていました。



まったく違います。原発由来の電気は極力供給せず、再生可能な自然エネルギー100%を目指して、生活クラブの発電所で発電した電気や地方でつくられた太陽光や風力、小水力、バイオマスで発電された電気を供給しています。発電所がある地域の活性化につながるように特産品を消費材として開発するなど、発電された電気を利用するだけではない関係も築いています。単にエネルギーを供給するだけの事業ではなく、省エネや脱原発、地域の活性化など皆さんの目的を持った取り組みを組合員が中心となつてすすめていて、私たちが生活クラブでんきを利用することで、取り組みに参加することができると参加者に伝えました。

今回参加できなかった皆さんもエネルギーについて考えて、生活クラブでんきを知ってほしいと思います。今後もエネルギーについて伝える機会をつくり、活動をすすめていきたいと思えます。

私たちの生産者

<第1回> コーミ株式会社 顧問 牧戸 正博さん

私たちの消費材の生産者を取り上げ、その人物像や消費材・生活クラブへの想いなどを紹介します。



「トマトケチャップ」などの生産者「コーミ(株)」の牧戸さんは今年で入社50年目になります。生活クラブの担当になったのは1996年で、それまで担当していた大手スーパーとは、商品の基準や流通販売方法などが何かも違うことにとっても戸惑ったそうです。生活クラブのセンターやデポ(店舗)に何度も足を運び、生活クラブを知れば知るほど興味が出てきたそうです。当時営業には必要のなかった添加物についてもかなり勉強されたそうです。

今、その時に組合員さんから「トマトができるまで待つ」と言ってもらえたことが大変、心に残っているそうです。生活クラブを通して同じ思いを持つ生産者仲間ができたことで、数々の困難を経験してもこの仕事が好きだと思えるそうです。プライベートでも家族ぐるみで交流されています。

今、6人のお孫さん(一番上が大学2年生、一番下は小学3年生)の成長が楽しみだそうで、インタビューの際にもお孫さんとのツーショット写真を見せてくださいました。今年で69歳を迎えられた牧戸さんですが、お話を聞いていると、まだまだのんびりする日は遠そう、これからも一緒に食の取り組みをすすめていきたいです。

※同業他社とも協力して国産加工用トマトの産地形成に取り組んでおり、現在は長野県や山梨県で独自の産地形成をすすめています。

紹介します!!
 うちの地域の
 組合員さんです



店舗が 大好きです



大音 知映子さん
 [店舗地域]

大音さんと出会ったのは、3年前に店舗で開催した「お掃除実践」企画で、目をキラキラさせて一番乗りで参加してくれました。

ご主人とふたり暮らしですが、よく遊びに来る大学生と高校生の3人のお孫さんの食事作りにも毎日のように腕を振り「安心安全

あり、その時に組合員さんから「トマトができるまで待つ」と言ってもらえたことが大変、心に残っているそうです。生活クラブを通して同じ思いを持つ生産者仲間ができたことで、数々の困難を経験してもこの仕事が好きだと思えるそうです。プライベートでも家族ぐるみで交流されています。

今、6人のお孫さん(一番上が大学2年生、一番下は小学3年生)の成長が楽しみだそうで、インタビューの際にもお孫さんとのツーショット写真を見せてくださいました。今年で69歳を迎えられた牧戸さんですが、お話を聞いていると、まだまだのんびりする日は遠そう、これからも一緒に食の取り組みをすすめていきたいです。

※同業他社とも協力して国産加工用トマトの産地形成に取り組んでおり、現在は長野県や山梨県で独自の産地形成をすすめています。

な食べ物を子どもや孫に食べさせられるのは本当にうれしい」と、ほぼすべての食材をエスコープ大阪で調達しているそうです。

今一番のお気に入り「ごま油」で、天ぷらをするとかリッとか揚がり絶品なのだそう。「他にはない油です!!」と友人にもおすそわけしたところ気に入ってくれて、エスコープ大阪への加入も検討されたそうです。

昨年から地域パートナーとしても活動されていて、「活気ある店舗になってほしい、もっと多くの組合員が集うお店であってほしい」と、何歳になっても自分ができることで店舗「城山台D.O.」に協力していこうという姿勢に、日々勇気づけられています。

聞き手 店舗地域理事 谷口景子



第3回 理事会報告 <7月3日>

【5月度決算報告】

- 供給高 1億8,711万円(前年同月比104.5%)
- 組合員数 19,529名(前月比+24)
- 一人あたりの出資金 80,097円

【6月の放射能検査結果】

6月は連合消費材733検体、エスコープ大阪独自の消費材4検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①2019年度 役員報酬額の決定
- ②理事長、専務理事に事故がある場合の常務理事の職務執行順序について

【協議事項】

- ①50周年事業のすすめ方について
- ②9月おさそいキャンペーン「生産者コラボ企画」について
- ③2019年度 温州みかんシーズン予約取り組み
- ④10月エコロ制度おすすめ強化月間
- ⑤「エスコープまつり2019」エリア内ブース企画案の決定
- ⑥第53回総代会の運営について
- ⑦ゲノム編集食品の規制と表示を求める請願活動への参加

エスコープ大阪では第6次中期計画として、いろいろなことを生み出すための基礎づくりをすすめていきます。「人が人としていきいきと生きていける持続可能な社会をつくる」ために、またその活動を広げていくためのヒト・コト・モノ・ハコをつくり出します。

今回は中期計画の実行方針である「人づくりとつながりをさらにすすめていきます」という方針の中から、地域委員会のなかで取り組む人づくりについてお伝えします。



大阪市南・中河内地域の「エスチャンネル」の様子

登録制で開催している仲間づくりの企画「エスチャンネル」の登録者や、企画のリーダーから多くの活動する仲間が生まれています。地域委員会の居心地の良さと、知らないことを知る楽しさが伝わっているからです。家庭や仕事の都合でやむを得ず活動を離れた方も、活動を続けたい・戻ってきたいという気持ちを持ち続けたままです。

企画にたくさんの方に参加してほしいので、もの作りをする

堺市街地地域

「エスチャンネル」に1年間登録し、自分たちで知りたいことや体験したいことなどを考え、実現していくことを経験し、地域委員やパートナーになる人が多いです。忙しい家事や育児の合間に自分の時間を作り参加することは、少しのがんばりが必要ですが、それ以上に楽しさや充実感を味わえたから、一緒に活動する仲間になってくれたのではないかと思います。これからも自分たちの想いを実現し、活動を楽しんでいきたいです。

南河内地域委員会

「エスチャンネル」に1年間登録し、自分たちで知りたいことや体験したいことなどを考え、実現していくことを経験し、地域委員やパートナーになる人が多いです。忙しい家事や育児の合間に自分の時間を作り参加することは、少しのがんばりが必要ですが、それ以上に楽しさや充実感を味わえたから、一緒に活動する仲間になってくれたのではないかと思います。これからも自分たちの想いを実現し、活動を楽しんでいきたいです。

今回は本格的な材料を使って楽しんでもらいました。また、参加者には、まず自己紹介していただき、意見を言ったり、聞いたりする機会を設けました。これからの参加者各々が活動の中心になれるように、意見を言い合える雰囲気を作っていくと思います。「私たちのエスコープ大阪」という愛着を持ってもらえるようにしたいです。

今回紹介できなかった地域でも、それぞれ共に活動する仲間を増やすためにがんばっています。活動する仲間を増やすためのキーワードは「主体性を持って取り組む」ということではないでしょうか。生協として自分たちの実現したいことを責任を持って、自分たちが主体となってすすめていける組合員活動は、一般企業や家庭の中とはひと味違う充実感を得ることができます。まずは地域の企画に皆さんも参加してみてください。各地域のニュースで案内しています。

※パートナー…エスコープ大阪や地域委員会の方針に基づき、地域委員会の恒常的・定期的な活動を担います。パートナーは広報・環境・福祉消費・組織の5分野をそれぞれ担当します。

おたよりネット

「りっふる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

198号2面「食べるだけでは終わらない私たちの『旬菜セット』」を読んで

紙面モニター Aさん

旬菜セットを普段から利用していて、いつも「菜心版ニュース」で生産者の方々のご苦労や努力がうかがえる「畑だより」を読んでいます。今回のりっふるの紙面では、「生産者マップ」も掲載されているので、「この辺りで野菜が作られているのか」と具体的にわかり、より生産者の方々を身近に感じることができました。

198号3面「竜おうみ米推進月間おむすびワークショップ」を読んで

紙面モニター Bさん

この記事を読んだだけで睡が出てきました。それだけ私たち日本人の遺伝子に米食が組み込まれているのだと感じます。現在、各家庭ではさまざまな事情でお米を炊く機会が減っていることを知りました。「パンもおいしい、でもやっぱりご飯!」と思えることを、次の世代の子どもたちに伝えていきたいと思います。

エコロ制度 7月度報告	
加入者数 1,294名	
組合員活動を支えるためのケア	0件
組合員活動中の共同購入品受け取りケア	0件
加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	9件
加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者本人の産前産後のケア	0件
長期に留守をする時のケア	0件
リフレッシュのためのケア	0件
儀式・行事に伴うケア	0件
高齢の加入者をサポートするケア	4件

エスコープ大阪の子育てひろば	
日時	会場
9月18日(水) 10~12時	大阪狭山市立公民館 (河内長野・大阪狭山地域)
9月17日(火) 10~12時	さつき野東集会所(南河内地域)
9月12日(木) 10~12時	レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター(泉州地域)
9月10日(火) 10~12時	和泉市コミュニティーセンター(泉州地域)
9月3日(火) 10~12時	ファインプラザ大阪(泉北NT地域)

*開催時間内であればいつ来ても、帰ってもOK
*組合員でないお友達との参加もOK *事前申し込みは不要
*お茶代100円(大人のみ)をいただきます

編集後記

生産者紹介に登場するコーミ(株)の牧戸さんの取材に同行しました。私が初めてお話をさせていただいたのは5年前。当時から変わらぬ若々しさですが、69歳を迎えられたということで驚きました。もう引退だと言いつつも、まだまだやるぞという気概に満ちた姿に、生活クラブとトマトケチャップへの情熱を感じました。「生産者をやる気にさせる生活クラブの魅力は何なのか」今後の生産者への取材で突き止めたいと思います。(K)

Ripple おたよりネット

(ペンネームOK)

●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはXで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事會事務局行き
200号(2019.8.26)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

https://s-osaka.seikatsuclub.coop/